

嘱託職員を廃止し、臨時職員へ移行

総務福祉文教

子どもの医療費が増加しているが、対象児童はどれくらいいるのか。

A 人数の把握はしていないが、町負担の対象児童は小学校1年生から3年生までの通院と小学校4年生から中学校3年生までの入通院となる。

体育施設費でシルバー人材センターに監視員を委託しが、資格などの問題はないか。

A プール監視員の募集を行ったところ、定員に達しなかったため、シルバー人材センターに委託した。監視員の資格要件はない。監視員は事前に全真消防署の救命救急研修を受けている。

現在、嘱託職員が26名いるが、嘱託職員を廃止してすべて臨時職員にするのか。また嘱託職員と臨時職員では給与など違うが、それに関しては本人も承知しているのか。なお、嘱託職員は法律違反になるのか。

A 今までの嘱託職員制度を廃止し、臨時職員に移行する対象者には、承知していた。嘱託職員に対して法的根拠はなく、今までは一年間の年間契約で雇用してきた。その中で、しっかりと法的根拠に基づいた形で雇用していく。経過規定も設けた中で正式に切り替えるのは平成25年4月1日からとなる。

嘱託職員から臨時職員になっても雇用期間に応じ格差をつけるのか。

A 職種によって単価を定める予定である。また、今までの嘱託職員としての単価を日額で割って、全体の中で調整していきたい。

緊急雇用創出事業補助金が500万円減額になった理由は。

A 社会福祉協議会に管理を委託した共同作業所に充当できないかということで、予算計上したが、県と協議した結果、対象とならないので減額した。



御代田町役場

クラインガルテン平成27年開設予定

町民建設経済

クラインガルテンの事業費及び進捗状況と国からの補助金は

A クラインガルテンの事業費総額は約1億5千700万円で、9月に基本構想ができあがり、現在は建物の構想を行っている。

用地買収、測量はこれからだが、地権者にはおおむね了解を得ているので、今年度中に地元と協議を行う。

平成26年度末までに利用者を公募し、平成27年度開設予定である。

国からの補助金は2分の1であるが、実施計画、基本構想等は補助対象外である。

放射能の関係で下水道汚泥処理費負担金が上がっているがいつまで続くのか

A 御代田町の脱水汚泥は20ベクレル/kgの下限値では検出されないが、詳細に測れば微量は検出される。

これを浅麓環境施設組合で乾燥させると25倍ほどに濃縮され200ベクレル/kgを超える場合があり、これを超えるとセメント会社が引き取ってくれず、処理方法の変更をした。放射能の半減期が40年といわれており、元に戻るのと同じくらいかかる。

子育て支援センターの見通しは

A 児童館では高学年児童の受け入れができない状況で以前から検討されてきた。

当初平和台の県営住宅跡地を無償で払い下げてもらい建設する予定だったが、有償となったので白紙となった。

昨年度から、教育委員会、企画財政課等と検討しなおしている。

役場庁舎の新築か改築により、既存施設の有効利用も考えられることから、その結果を待つて行いたい。

有害鳥獣の捕獲実態は

A 昨年度は二ホンジカ、イノシシ、ツキノワグマ合わせ124頭だったが、今年度は二ホンジカ113頭、イノシシ65頭、ツキノワグマ15頭の計193頭を見込んでいます。

やまゆり保育園の用地購入とは

A 園庭南側の山林995㎡を購入し、平成25年度森を整備し、子どもたちが遊べるようにする計画である。



やまゆり保育園